



【中津川市の方針】

よりよいひとりだち

生活・学習における
基礎基本の習得と
たくましい子の育成

【教育目標】 自ら考え 互いに助け合い 粘り強くやり抜く生徒

【目指す学校像】 自治の気風みなぎる学校

【研究主題】 自律的に学び合う生徒集団を育む

【生徒会スローガン】 自治力

【生徒の実態】

- ・学年を超えて穏やかに関わり合える人間関係であり、落ち着いて学校生活や学習に向かう雰囲気がある。
- ・仲間との対話を通して考えづくりをし、解決を目指すことができる。自分と違う意見についても尊重できる。
- ・学校生活を楽しんでいる生徒が多く、教師への信頼度が高い。
- ・地域行事やボランティア活動への参加率が高く、人の役に立ちたいという気持ちが育っている。
- ・集団で高めていく力は高いが、家庭学習や提出物など、個人でのセルフコントロール力に課題がある。
- ・将来の夢や目標をもっている生徒は少なく、自己肯定感が低い傾向にある。

【具体的な目標】

よりよい学びづくり

○『学び合い』を通じた授業改善

- ・みんなでみんなができるようになること、目標を達成することを本気になって目指す集団づくり
- ・仲間と力を合わせ、お互いに補い合いながら、課題の解決・目標の達成に向かう生徒の育成
- ・定期的な状況把握（生徒によるアンケート・研推を中心とした振り返りなど）とその課題の工夫改善

○キャリア教育の推進

- ・学年の実態を踏まえた3年間のカリキュラムの作成
- ・学習の意図やねらいの明確化と振り返りの位置付け
- ・外部講師や出前授業の積極的活用
- ・学びや体験を通じた望ましい勤労観・職業観の育成

○家庭学習の充実

- ・時期、教科、学年などに応じた継続的な指導・助言
- ・個に応じた日常的な見届け

◆評価の窓

- ・生徒による各種アンケート・調査
- ・日常的な授業の終末での評価テスト・記述、到達度テストなどの分析
- ・長期休暇やテスト取組期間の実態把握

よりよい生活づくり

○安心と安全の確保

- ・生徒の様子の変化の早期把握と丁寧な対応
- ・温かく寄り添う教育相談体制の維持
- ・感染症・熱中症・災害などに対する危機管理意識の醸成
- ・情報モラル、ICT 機器の管理を含めた情報教育の充実

○生徒の「自治力」の向上

- ・本物の力（よい姿を継続する力）を付けることを目指す生徒会活動の活性化
- ・PDCA サイクルを活かした学校生活の改善

○地域や保護者など、周りの人との連携

- ・心地よいあいさつ・感謝の心（PTA・小中連携）
- ・地域の役に立ちたいという心情的継続的な育成
- ・地域人材や外からの情報の有効活用
- ・更によくしていこうという視点と「自発力」の育成

◆評価の窓

- ・学校運営協議会委員や来訪者等による外部評価
- ・生徒による各種アンケート・調査
- ・保護者による学校評価アンケート

【基盤となる教職員の構え】

6つの Work(ワーク)を意識し、「①ワークワーク(わくわく)」しながら気持ちよく働ける阿木中学校

- ②Head(ヘッド) Work・・・自己研鑽に努め、最善の方法のために知恵を絞る集団
- ③Foot(フット) Work・・・早期対応と効率のよい働き方を実践する集団
- ④Net(ネット) Work・・・地域や外部機関・専門家との連携を活かし、積極的に学びを深められる集団
- ⑤Heart(ハート) Work・・・全職員による生徒理解、温かい信頼関係でつながった集団
- ⑥Team(チーム) Work・・・尊重し合い、ともに考え、ともに学び続ける集団

【「よりよいひとりだち」を支える連携】

- ・阿木小中学校区学校運営協議会
- ・校区の園・小学校／市内中学校
- ・近隣の高等学校
- ・保護者
- ・外部指導者・専門家による講話や指導
- ・クラブの地域指導者（バレーボール・卓球・安岐太鼓）
- ・地域、阿木事務所、敬愛会シクラメン、阿木診療所、阿木交番など
- ・関係機関（中津川市役所 各課など）